参考資料１

生涯活躍のまち構想の案を作成した趣旨等

平成 30 年 2 月 1 日
聖籠町役場総務課

1　生涯活躍のまち構想の案を作成した趣旨

人生 100 年ともいわれる長生き時代、少子・超高齢化時代において、高齢期をより前向きに捉えるとともに、生まれてから亡くなるまでの全てのライフステージで住みよい多世代共生の地域社会を目指すためのものとして、生涯活躍のまち構想の案を作成しました。

2　構想の位置づけ

この構想は、聖籠町第４次総合計画のもと、聖籠町まち・ひと・しごと創生総合戦略や各行政分野の個別計画とともに、今後の聖籠町のまちづくりの方向を示したものになります。

この構想でまとめた施策に関連することはこれまでも、様々な町の計画に盛り込まれているところですが、この構想ではそのことを踏まえつつ、生涯活躍のまちという視点から重点的に取り組むべき事柄について充実させています。町は各種計画との整合性を図りながら構想を推進していきます。

3　構想案の策定経過

平成 27 年 12 月に国が設置した日本版ＣＣＲＣ構想有識者会議により「生涯活躍のまち」構想がまとめられことを受けて、町では平成 28 年度に、聖籠町生涯活躍のまち構想研究会（会長：窪田昌行氏　NPO 法人高齢者健康コミュニティ代表）を設置して、町における実現可能性を中心に調査研究を行いました。

この研究会報告を受けて、平成 29 年度には住民、医療・福祉、産業、金融の各分野、学識経験者による聖籠町生涯活躍のまち構想検討会（会長：地濃茂雄（ちのしげお）氏　新潟工科大学名誉教授）を設置し、そこで聖籠町としての生涯活躍のまち構想の基本的方向などについて議論がなされました。この構想案は検討会報告（平成 29 年 11 月）をもとに作成したものです。